

ホームスクール通信 エッグプラント

EGGPLANT

Nファミリー

2007.5.1

No.34

家の取材

「チア・につぼん」代表の稲葉さんが我が家に取材にきました。我が家で行っているホームスクールを取材したかったようです。以下はチア・日本のHPからの抜粋です。

「『チア・につぼん』は、日本でのチャースクーリング、ホームスクーリングのネットワークと情報提供をめざして、二〇〇〇年五月に旗揚げされた新しいミニストーリーです。」

チア・につぼんの目的とビジョン

「『これからの日本と世界を担う子供たちが全科目において、創造主と聖書を見つめながら学び、そしてその愛とゆるしを伝える新しい時代の青年へと成長していく』これが私たちの目標でありビジョン」

ンです。聖書に示されている、子供の教育に関する親の権利と責任、教会の使命を見つめ直し、家族、教会、そして社会が、健全に前進することをめざします。全ての人々にキリストの愛と救いを伝え、クリスチャン子弟への信仰継承を進め、新しい国際社会への貢献をしていく手段として、家庭や教会等における教育の普及と推進を図ります。そのための環境整備、教会を基盤とした各地域・草根・社会的な啓蒙活動、さらに実践者、教会、グループまたは会員への支援と親睦融和を目的としています。」

稲葉さんは元NHKのディレクターです。クリスチャン作家三浦綾子さんのドキュメンタリーを撮って全国放送されました。青森県弘前出身で、田舎に戻った時は、私たちと同じような集会に集っておられるということとで親近感があります。現在は、ハリウッド映画「新・ジーザス」製作のプロデューサーをしつつ、チアにつぼんの働きを進めています。三日間に渡り、泊まり込みでの撮影と

なりました。よかったのはこの機会に家が掃除され、きれいになったということでしょう。インタビュースされるなど緊張の連続でした。果してどんなものができあがるでしょうか。



にんじゃやしき

ぼくはにんじゃやしきに行きました。くノ一がにんじゃやしきの中や外庭を案内してくれました。とんでん返しはとも早く中に入って戸を閉めないといけないのににんじゃでも練習しないとイケないそうです。ぼくもちょっとしてみましたが失敗しました。階段にもゆかの下にもいろいろな仕かけがあるのでおもしろかったです。ぼくも住んでみたいです。

おみやげにまきびしなどを買いました。いが上野行きの電車は乗る人が少ないので一時間に一本しかありません。しかも一両か二両です。ぼくがいつも乗っている電車とはとても違いました。家族全員で行けたのもとても楽しかったです。



進級式

今年度ががんばりたいことを、進級式では発表しました。

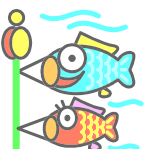
M: 聖書をもっと学びたい。英検準一級を目指します。

H: 数検四級を目指してがんばります。また、苦手な英語をがんばりたいです。

N: 漢字検定五級を目指していきます。公文の数学もがんばりたいです。

E: 科学者になりたいので算数をがんばります。

R: もっとさんすうをがんばりたいです。



洗礼式の決意表明…抜粹

H

私は小さいころから神様のことを知っていて、イエス様が私たちの罪のために死んでくださり、よみがえられたことを信じていました。しかし、なかなか神様の方に歩んでいきませんでした。うそをついたり、けんかをしてしまったり、数えきれないほどの罪を犯してきました。

「私は、私を強くしてくださいる方によって、どんなことでもできるのです。」という御言葉から神様が助けてくださる、と分かり信仰告白しました。

自分が救われているという確信が与えられた御言葉はペテロ二章二十四節「そして自分から十字架の上で、私たちの罪をその身に負われました。それは、私たちが罪を離れ、義のために生きるためです。キリストの打ち傷のゆえに、あなたがたは、いやされたのです。」でした。

前から、洗礼を受けたいと思っていましたが、それをするには、聖書のことを全部知っていなければならぬから、受けることはできないと思っていました。夏のバイブルキャンプで「神様とともに歩いていくうちにだんだん分かってくる。」全部わかって信じるのではない。」と聞いて。洗礼の本当の意味が分かりました。しかし次は、洗礼を受けた後に信仰を保つことができるのか、失敗しないのか、と心配になってきました。でも、「恐れるな。私はあなたと共にいる。」という御言葉を読んで、神様が私と共にいてくださるんだ、ということがわかり洗礼を受ける決心をしました。

これからも、個人的に聖書を読むこと、祈ることを通して神様との交わりを深めていきたいです。

洗礼式の決意表明…抜粹

M

僕はクリスチャンホームで生まれました。ですから小さいころから聖書の話がたくさん聞き、罪や救いについて真剣に考えることなく、当然天国へ行けると信じて疑いませんでした。だから日曜学校のメッセージも真剣に聞いていませんでした。

中学生になってYさんと話していた時「天国にいけるかどうかはつきりしてないのだったら地獄に行くなあ」と言われてショックでした。そして、二度目のバイブルセミナーに行きました。メッセージの中でいろいろな復活の証拠もできました。イエス様が復活したという証拠をあまり聞いたことがなかったので僕はとても驚きました。メッセージの後、ローマ人への手紙十章九節「なぜなら、もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救

こんなことしました！ 行事報告

四月

三日 チャーチスクーラーTさん宅での交流

七日 進級式

九日 遠足(伊賀上野忍者屋敷)

十五日 ピアノ発表会

十六日 ホームスクーラー交流会(祖父母宅)

十八日~二十一日 チアの取材

二十一日 バイブルサークル・BBQ(大泉緑地)

二十四日 JCホームチャーチスクール

二十九日 洗礼式(M&H)

われるからです。」という聖句を教えてもらい、イエス様は復活したと信じ、自分の救い主として受け入れたことを告白しました。

バイブルセミナーが終わって、洗礼について考え始めました。だが洗礼となると、いろいろな不安に悩まされ、一歩踏み出せませんでした。そんなわけでバイブルキャンプでも「洗礼について考える。」ということを目標として行きました。キャンプで話し合ったとき、最初は「従った」と書かれてある弟子たちですが、十字架の時にはイエス様を見捨てた箇所をみました。人間は罪を持っているから常に従うことはできないけれども、イエス様を主として従うということはイエス様が今望んでおられることをするということだと教えてもらいました。神様が喜ばれ、望まれることは、僕がバプテスマを受けることではないかと考え、バプテスマを受ける決心をすることができました。

これまでの僕は自分ために生きてきました。これからは簡単なことではありませんが、神様を信頼して、助けてもらって、コリント人への手紙 五章十五節にあるように、「自分のために死んでよみがえってくださった方」イエス様のために生きようと思えます。

